



せたがや区議会だより

No.263

平成30年(2018年)1月1日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html>

任期付職員採用条例などを可決 第4回 定例会

迎春



区役所から撮影

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から24件の案件が提出され、全て可決しました。また、議会運営委員会の委員の定数を変更するとともに、委員を選任しました。

※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●条例の新設

1件

○任期付職員採用条例
(全員賛成)

専門的な知識や経験を有する人

●条例の改正

16件

○出張所設置条例
(全員賛成)

二子玉川出張所及び二子玉川まちづくりセンターの位置を玉川4-4-5に変更する。

○清掃・リサイクル条例
(全員賛成)

古紙やガラスびん、缶などの再利用対象廃棄物の持ち去りを常習的に行う者に科する罰金を50万円以下へ引き上げることなど。

新年のごあいさつ



世田谷区議会議長
上島よしもり

明けましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

世田谷区は昨年、区制施行85周年を迎えました。その長い歴史を刻む中で、区議会は区民の皆様の

声を区政に反映させ、区の着実な発展に貢献してまいりました。今後も執行機関と密接な連携を図りながら、さらなる発展に向けて力を注いでまいります。

28年度決算では、区は引き続き健全財政を維持しております。しかし、本庁舎整備などを初めとした行政需要の増大やふるさと納税の影響による著しい減収が見込まれることなどを踏まえると、行政改革に一層取り組み、強固な財政基盤を構築する必要があります。また、災害対策の強化や保育待機児の解消、東京2020オリンピック・

パラリンピック競技大会を見据えた国際施策や観光施策の推進など、区政課題は山積しております。議決機関である区議会は、今後も活発に議論し、課題の解決に尽力してまいります。

世田谷区議会は、今後も議会活動が皆様にとってより身近なものとなるよう、区民に開かれた信頼される議会づくりに向けて全議員で一致団結して取り組んでまいります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

●条例の廃止

1件

○総合福祉センター条例
(全員賛成)

総合福祉センターを廃止する。
(施行日は31年4月1日)

●工事請負契約の締結

2件

○仮称九品仏複合施設新築工事
(全員賛成)

工事名	相手方・契約金額
新築	東京コーポレーション株式会社 二億七八九万四千円

工期 31年2月15日

＜8ページへ続く＞

会派名等

自民 自由民主党世田谷区議団
公明 公明党世田谷区議団
民進 世田谷民進党市民党議団
共産 日本共産党世田谷区議団
F行 世田谷無所属世田谷区議員
希望 せたがや希望の会
生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
減税 減税せたがや
虹 レインボー世田谷
SPJ SPJせたがやプロジェクト
世田谷 世田谷無所属
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

平成30年(2018年)年頭に当たって

議員の連絡先は平成29年12月22日現在

自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとうござい
ます。皆様には、日ごろから多大な
るご支援を賜り、心より御礼申し
上げます。

昨年、世田谷区は区制施行85周
年を迎えました。先人たちが幾多
の困難を乗り越えて築き上げてき
た世田谷区を、区制100年、150年
に向けて、さらに発展させるため
は、手綱を緩めることなく、行財
政改革をしっかりと進める必要が
あります。

また、日本各地で大規模な自然
災害が相次ぎ発生する中で、区民
の皆様の生命と財産を守るため
には、あらゆる政策を躊躇すること
なく総動員し、力強く推進するこ
とも決して忘れてはなりません。
さて、区長が全部改築の一部改
築かの整備手法すら判断せずに、
貴重な時間と予算を浪費してきた
本庁舎整備事業に関し、遅きに失

した感はありませんが、平成32年
の着工に向けた基本設計の策定作
業がようやく始まりました。また、
区長は、区民の皆様への周知が不
十分な状態で重要な条例改正案を
区議会に提出するなど、昨今にお
ける現区長の区政運営は、停滞と
迷走を繰り返しています。

こうした状況を打開し、次世代
に胸を張って引き継げるまちづく
りを実現するためには、区民の皆
様の声をしっかりと受け止めると
もに、将来の行政需要を見据えた
総合的な施策を展開する決断力と
行動力が不可欠です。

私たち党派は、山積する区政課
題に対して真摯に向き合い、区民
の皆様にとつて真に必要な政策を
確固たる信念のもとで進めてまい
ります。具体的な政策課題には、
次のとおり取り組みます。

●乳幼児期から高齢期まで、区民
の生涯を通じたニーズにきめ細か
く対応し、それぞれが自立して、
地域の中で支え合い、健やかに生
活できるよう環境を整備します。

①妊娠出産・子育て支援（生まれ
る前から子育てを支援します。）
②教育の充実（全国トップクラス
の学校教育を目指します。）
③障害児・障害者支援（個別の特
性に応じた支援を充実します。）
④就労・仕事支援（職住近接が可
能な環境をつくります。）

⑤結婚・家族支援（結婚しても世
田谷に住み続けたい人を応援し
ます。）
⑥スポーツ・文化の推進（スポー
ツと文化のまち世田谷のさらなる
飛躍を目指します。）
⑦地域活動支援（お互いに支え合
える地域の絆をつくります。）

⑧健康・長寿の推進（23区トップ
の健康長寿を目指します。）
●都市基盤の整備、安全・安心な
環境づくりなど、区民生活を守り
支える「縁の下力持ち」になり
ます。

①道路・交通環境整備の推進（「世
田谷の弱点」を克服します。）
②都市基盤整備の推進（誰もが歩
いて楽しいまちをつくります。）



おぎのけんじ
〒158-0093
上野毛4-13-11
6809-7120



石川 征男
〒157-0072
祖師谷1-9-16
3483-5111



石川 ナオミ
〒156-0056
八幡山3-23-26-102
5942-1285



あべ ひろゆき
〒154-0002
下馬3-16-13
3413-3740



河野 俊弘
〒154-0023
若林1-16-1-700
6805-4054



かみやま なおのり
〒154-0002
下馬1-18-7
6805-2607



かみやま よしもり
〒156-0052
経堂1-21-16-3F
6356-4344



かとう たいき
〒154-0017
世田谷1-28-13
6674-2391



みつおか みほこ
〒157-0066
成城1-25-12
3415-5255



まなべ よしゆき
〒157-0063
粕谷4-20-18
3300-3940



はまやま しんいち
〒156-0041
大原1-16-3-112
3466-7005



すがむね つとむ
〒154-0015
桜新町1-14-18
3428-2161



わだ ひでとし
〒158-0083
奥沢1-40-2
3720-3542



よしひろ 吉 宏
〒158-0094
玉川3-1-18-402
5797-5050



やまの あきら 彰
〒154-0001
池尻4-29-18
3422-3455



やまぐち ひろひさ
〒158-0082
等々力5-4-2-602
3702-1819



そのべせいや
〒158-0097
用賀4-11-15-401
090-6939-7273



おおたに まさひろ 明
〒157-0063
粕谷3-15-3
3307-1179



ももの よしふみ 桃野
〒157-0067
喜多見8-4-12-103
6751-1781



たなか ゆう 優 子
〒156-0043
松原4-34-20-309
3322-8131



すがや やすこ
〒157-0064
給田5-2-13-115
090-2662-8887



かみかわ あや
〒156-0051
宮坂2-26-24-203
5799-7765



あべ りか 也
〒157-0076
岡本1-38-14-306
3412-1021

慶春。一人の議員でも条理を尽
くした議論で多くの成果を上げる
ことができます。本当に困ってい
る人こそ声を上げることが難しい。
少数者として生きてきた経験を糧
に「ちいさな声」を代弁します！

レインボー 世田谷

今年もサリーマン・働く女性・
若者・高齢者・障害者の声を区政
に届け、保坂区政を厳しくチェッ
クします。区役所や区議会の税金
のムダ遣いを許しません。現在小
中学校の給食費無償化を提案中！

減税せたがや

新年おめでとうございます。す
べての世田谷区民の方が安心して
生活できる環境整備に向けて、子
育て・教育・高齢者政策、良好な
住環境整備に取り組んでまいりま
す。皆様のご多幸をお祈りします。

せたがやすこやか プロジェクト



区内農園での「冬野菜の収穫」の様子
(中町2丁目)

③防犯・交通安全対策の強化（安
全・安心な暮らしを守ります。）
④防災対策の強化（いつか必ずや
つてくる災害に万全の備えをし
ます。）
⑤環境の保全（美しい自然を守り、
未来に継承します。）
●持続可能な区政運営には、安定
的な財政基盤を築くことが不可欠
です。人件費の削減や組織の合理
化、さらなる民間活力の導入など
「現区政にはできない」行政改革
を断行します。

無所属・世田谷 行革110番・プラス

迎春。私たちはジェットコース
ターの如く変化する政治状況とは
一線を画し、大庭正明、田中優子、
桃野よしふみ、そのべせいや4名
で正式交渉会派として世田谷区政
発展に全力を尽くします。これま
で同様、ブレずに、一貫して税金
の使い方を厳しくチェックし、区
民のための街づくりに努めてまい

生活者ネットワーク 世田谷区議団

謹賀新年。区民の皆様と共に、地
域包括ケアシステムなど福祉の充
実に今年も取り組みます。子ども
の権利の視点から保育待機児解消
を進め、虐待防止と子ども支援を
充実させます。みずとみどり豊か
な世田谷の環境を守り、次世代へ
引き継ぐため、ごみやエネルギー
など生活に密着した問題の解決に
向け提案をしていきます。
今年もよろしく願っています。



たなか みち子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
3420-0737



たかおか じゅんこ
〒156-0042
羽根木1-31-3
3420-0737

明けましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。公明党への温かなご支援に心より感謝申し上げます。

昨年は、7月の都議会議員選挙、10月の衆議院議員選挙において、公明党は国民の皆様からの信任を得て、引き続き政権与党を担い、緊迫する北朝鮮の核兵器やミサイル開発等の安全保障問題や取り組んできた経済政策、さらに全世代型社会保障への転換等、公明党の役割をしっかりと果たすべく、国会議員と300名の地方議員のネットワークで責任政党の力を発揮し、政策実現に邁進してまいります。

私も公明党世田谷区議団は、「未来を担う子どもへの投資・教育の充実をめざして」を最重要政策として実現へ向け全力で取り組んでまいります。子どもの幸福は、社会の幸福につながります。ゆえに教育のために社会が果たすべき役割・責任は大きく、具体的には、以下5つの実現に挑戦します。

①幼児教育無償化



佐藤 弘人
〒157-0071
千歳台3-21-14
3482-7732



河村 みどり
〒157-0061
北鳥山8-2-16-104
3307-4884



岡本 のぶ子
〒156-0054
桜丘4-25-17-210
3427-0557



板井 比呂志
〒158-0087
玉堤1-16-28
3704-8405



平塚 敬二
〒154-0022
梅丘2-8-9
3420-0240



津上 仁志
〒154-0024
三軒茶屋2-28-11
5787-6162



高橋 昭彦
〒156-0044
赤堤2-30-12
3327-0443



高久 則男
〒154-0005
三宿2-14-7-304
3422-0828



諸星 義一
〒154-0016
弦巻1-28-18
3426-7197



福田 妙美
〒154-0017
世田谷4-7-33-1F
5797-9825

世田谷民進党・ 社民党区議団

新年明けましておめでとうございます。昨年は都議選と衆院選という大きな選挙があり、特に衆院選では市民と野党の統一候補を区長とともに応援し、2人とも当選を果たすことができました。より連携を深めていきたいと思っております。

本年も我が会派では災害に強く誰もが生きづらさを感じない世田谷区を目指し政策を前に進めて参ります。4年間の任期も最終年度を迎える年となりますが区民目線



中塚 さちよ
〒156-0055
船橋1-1-11松本ビル3F
3429-6078



風間 ゆたか
〒154-0002
下馬3-24-19
080-5466-0024



羽田 圭二
〒158-0092
野毛3-6-22
3702-3550



中村 公太郎
〒158-0081
深沢5-10-6-202
090-8050-2750



藤井 まな
〒154-0012
駒沢2-12-1
080-1085-3624

日本共産党 世田谷区議団

新年明けましておめでとうございます。昨年の総選挙で日本共産党は市民と野党の共闘を追求し、東京5区、6区ともに野党統一候補が議席を得ることができました。選挙の結果、自民・公明などが多数を占め9条改憲の動きを強めています。日本共産党は9条改憲に反対するすべての野党と市民のみなさんと力を合わせストップさせるために全力を挙げます。

日本共産党は保坂区政の与党として、くらし福祉を大切にする区政の実現に力を尽くしてきました。認可保育園整備を中心に3歳児以上の待機児を解消し、保育の質を大切に、さらに0から2歳の待機児解消をすすめます。就学援助の拡充と給付型奨学金を実現させるなど、子どもの貧困対策を区の重点施策とすることができました。今年第7期介護保険事業計画が始まります。高すぎる保険料の軽減、特養ホーム整備など安心して介護が受けられる世田谷をつくるために全力を尽くします。



桜井 稔
〒154-0024
三軒茶屋1-6-11
5481-2928



江口 じゅん子
〒156-0044
赤堤1-40-13-303
5300-2735



中里 光夫
〒155-0033
代田4-33-1
6265-7417



たかじょう 訓子
〒157-0062
南鳥山2-8-2-104
6382-9544



村田 義則
〒158-0081
深沢4-7-12
3703-7240

世田谷希望の会

新年あけましておめでとうございます。人口減少社会といわれて久しい日本の中で、人口増加の一途をたどる世田谷。高齢化だけでなく多様化する行政ニーズに対応するための舵取りは一層難しくなっています。オリンピック・パラリンピックまで2年少し。この大会を契機と捉えた政策にも力を入れなければなりません。せたがや希望の会はこれまで以上に全ての政策に理念を持って、そして知恵を絞りながら、地方議会の果たすべき役割に邁進してまいります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

無所属



阿久津 皇
〒157-0073
砧7-4-12-103
6411-0515



小泉 たま子
〒157-0068
宇奈根3-14-28
3415-0305



佐藤 美樹
〒156-0045
桜上水4-18-25
6379-8300

世田谷無所属

謹賀新年 自転車の安全利用・図書館・ゲリラ豪雨対策・高齢者施策・保育・教育等、本年も区民の皆様の立場に立ち、多くの方の声を区政に反映させてまいります。本年もよろしく願いいたします。



ひうち 優子
〒155-0033
代田6-6-22-102
3466-3858



青空 こうじ
〒156-0041
大原1-39-1
3485-2726



ボロ市（東京都指定無形民俗文化財）

代 表 質 問

11月27日及び28日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団
三井 みほこ議員



健康寿命延伸への独自施策の展開

質問 医療制度や介護保険制度の存続に向けた健康寿命延伸への取り組みは重要だ。他自治体で特色ある介護予防施策が展開される中、一歩踏み込んだ独自の施策を行え。

区長 90万都市にふさわしい健康長寿社会の実現を目指していく。

地域共生社会の実現

質問 高齢者が安心して暮らし続けられる社会を実現すべきだ。地域共生社会の実現に向け、多世代交流の基盤整備などを図り地域包括ケアシステムの体制を強化せよ。

副区長 地域包括ケアシステムの深化や推進に積極的に取り組む。

予算編成における財政規律の堅持

質問 区長は優先順位を整理せず事業展開し区の予算を膨張させ続けている。超高齢社会の到来による行政需要増大に備えて財政規律を堅持し、30年度予算を編成せよ。

区長 限りある財源の効率的、効果的な配分を念頭に編成を進める。

都区制度改革による自治権の拡充

質問 都区制度改革による自治権拡充への取り組みが重要だ。まずは、特別区の区域内で都が担う大都市事務の内訳と固定資産税などの税収内訳の明示を都に求めよ。

区長 公開の場での要望を含め、効果的な手段を検討し実行したい。

児童数の推移を踏まえた学校改築

質問 学校改築では、児童数の増加に十分対応し、将来的な減少も想定して取り組む視点が重要だ。将来の施設需要の変化に柔軟に対応できるよう施設整備を行え。

教育次長 子どもの数の増減などに柔軟に対応できるよう整備する。

災害に強い本庁舎の早急な整備

質問 首都直下地震の発生が危惧される中、防災拠点となる本庁舎の整備をこれ以上おくらせてはならない。耐震性などを十分備えた本庁舎を一日も早く整備せよ。

副区長 32年度に工事着手し、なるべく早い竣工を目指すしていく。

商店街振興施策の充実

質問 他自治体では交通系ICカードなどを活用した商店街ポイント事業が展開されている。区も健康増進事業と商店街振興事業をつなげて、施策展開に工夫を凝らす。

産業政策部長 関係所管と協議し、効果的な活用方法の検討を重ねる。

命の大切さを学べる機会の拡充

質問 子どもが自身の体験を通して痛みや弱さを感じ取り、ひいては命の大切さを学べるよう、命の教育を充実すべきだ。日常的に生き物と触れ合える機会を拡充せよ。

教育次長 命の大切さを学べる機会の拡充を各学校に働きかける。

国際交流の機会を捉えた英語教育

質問 国際交流の機会を捉え英語教育を充実すべきだ。スカイプなどを一層活用することにより、海外の交流都市の子とも積極的に交流するなど学ぶ機会を拡充せよ。

教育政策部長 スカイプを一層活用した交流も視野に、充実を図る。

都と連携した児童相談体制の強化

質問 区は児童相談所の移管を進めるのならば、子どもの利益を最優先に考えた相談体制を構築すべきだ。移管に際し、都の児童相談センターとの連携強化に尽力せよ。

副区長 移管に係る計画書を都と確認する中で具体的提案をしたい。

グリーンインフラによる道路整備

質問 自然環境の機能を活用するグリーンインフラ整備は豪雨や猛暑などの影響の緩和に有効だ。環境に優しい街づくりに向け、道路整備にこの視点を十分盛り込め。

土木部長 道路におけるグリーンインフラ活用の取り組みを進める。

緑の保全を目的とした寄附の促進

質問 緑の保全には多額の財源が必要だが、みどりのトラスト基金への寄附実績は低調だ。保存する緑地名などを明示し、クラウドファンディングの手法で寄附を募れ。

副区長 新たな資金確保の手法として、実現に向けて検討していく。

公明党世田谷区議団
平塚 敬二議員



学校給食費の無償化への取り組み

質問 未来を担う子どもたちのために、教育施策への投資を充実すべきだ。多子世帯に対する給食費の補助制度を導入するなど、学校給食費の無償化に向けた一歩を踏み出せ。

教育次長 財源確保に課題もあるが、研究や検討を進めていきたい。

観光施策と国際交流施策の融合

質問 東京20大会を見据え、地域経済活性化と多文化共生社会の形成を図るべきだ。双方の施策を効率的に展開できるように、観光事業と国際交流事業を一体的に進めよ。

区長 それぞれの事業の企画や情報発信に十分連携して取り組む。

障害者スポーツの専管部署の設置

質問 東京20大会に向けた障害者スポーツの振興を図るため、庁内での推進体制を強化すべきだ。障害者スポーツの専管部署を設けよ。

スポーツ推進部長 効果的な体制のあり方を庁内で調整し検討していく。

建設業への支援体制の強化

質問 区が示した産業ビジョンの素案には、建設業支援への強い姿勢が見えない。建設業を区内産業の柱に明確に位置づけることも、支援を担う専管部署を設置せよ。

副区長 相談窓口設置を含め継続的な支援への体制整備を検討する。

がん教育のさらなる推進

質問 子どもに対するがん教育は家族へのがん検診の啓発にもつながる。関係団体などと連携し、医師や罹患者経験者を外部講師として招いたがん教育を全区立校で行え。

保健所長 がんに係る講話を行うなど一層のがん教育推進に努める。

不登校・いじめの相談体制の拡充

質問 若者の間で利用が広がるSNSを有効活用し、不登校やいじめの防止対策に取り組むべきだ。早期発見に向け、LINEなどを活用した相談体制を構築せよ。

子ども若者部長 他自治体の例や国の動向などを注視しつつ研究する。

都市農地が持つ防災機能の周知

質問 都市農地が備える防災機能を区民に対して積極的に周知すべきだ。農地所有者の協力を得て、災害時に避難場所となる農地を看板などを用いて明確に表示せよ。

産業政策部長 農協と連携し、避難場所に使用できる旨を表示する。

魅力ある風景づくりの推進

質問 魅力ある風景づくりを進めるため、区が景観形成への意思を明確に示すべきだ。街路灯などの公共物の整備に際し、地域の風景に配慮して色彩などの調和を図れ。

都市整備政策部長 地域全体の魅力や質を高める風景づくりに取り組む。

プログラミング教育の体制整備

質問 2020年には小学校におけるプログラミング教育が必修化される。質の高い教育の実現に向け、教員への研修の充実や民間委託によるICT支援員の配置に取り組め。

教育政策部長 外部の専門家の活用について、研究や検討を進める。

世田谷民進党・社民党区議団
風間 ゆたか議員



30年度予算での教育と福祉の充実

質問 区の人口は90万人を超え、子どもと高齢者の人口は今後もふえる見通しだ。30年度予算では教育施策と福祉施策を一層充実せよ。

区長 子育て支援などの重点政策の推進を基本に、予算を編成する。

区施設の利用率向上への取り組み

質問 区は利用者負担の適正化に向けて安易に施設利用料などの増額を行う前に、施設の利用率の向上に一層取り組むべきだ。予約キャンセルの抑制策などを強化せよ。

政策経営部長 新たにキャンセルを設定することも検討している。

三軒茶屋の再開発へのかかり方

質問 三軒茶屋2丁目地区の再開発が事業化されれば、区は準備組合に多額の補助金を支出することとなる。公益に資する再開発に向け、区は事業にどう関与するのか。

副区長 公益的な視点を基本に、再開発準備組合の活動を支援する。

高齢者の見守り事業の利用促進

質問 高齢者の見守り施策を充実すべきだ。シニアボランティアの協力を得て積極的に自宅を訪問し、高齢者安心コールなどの見守りサービスを案内して利用を促せ。

高齢福祉部長 高齢者安心コールの周知や利用促進に努めていく。

保育二丁ズの的確な把握

質問 区の保育二丁ズ調査は、保育需要を的確に把握できていない。潜在的な待機児の解消も視野に、30年度は調査手法の改善を図れ。

子ども若者部長 設問を工夫するなど潜在的な二丁ズの把握に努める。

区立校における安全対策の強化

質問 区立小で起きた組み体操中の負傷事故の教訓を安全対策などに十分生かすべきだ。教員へのさらなる意識啓発に加え、事故が発生した際は誠実な対応を徹底せよ。

教育長 学校の安全対策を支援し、教員のリスクへの感度を高める。

日本共産党世田谷区議団
江口 じゅん子議員



憲法9条改憲への区長の認識

質問 自民党の改憲案は9条に自衛隊明記を行い9条を死文化させ、自衛隊の無制限の武力行使が可能になる。反対の行動は広がっており、改憲案への区長の認識を示せ。

区長 9条に自衛隊を書き込むという改憲案には賛成できない。

区が進める参加と協働への懸念

質問 後期新実施計画案では参加と協働が強調されているが、基礎的な住民サービスに責任をもつ区役の後退があつてはならない。区の責務を明確に位置づけよ。

政策経営部長 区の役割が一層明確になるよう表現などを整理する。

区立保育園における区の公的責任

質問 民間活用・民営化において、区としての公的責任を明確化し慎重に対応すべきだ。区立園は保育の質を守り高める役割を担っており今後も公的責任を果たせ。

子ども若者部長 行政が直接行う保育の重要性を認識し施策展開する。利用者負担の見直しは避けるべき。

質問 区民生活が厳しさを増す中、区が検討中の施設使用料や利用料の値上げ案は、地域における区民活動の抑制につながる。値上げは避けるべき。

政策経営部長 区民の理解を得ながら料金改定を進めていきたい。

学校給食費無償化への取り組み

質問 憲法26条は義務教育無償を明記している。我々が提案した都との連携での給食費助成を区長会で提案するなど積極的に取り組め。

副区長 国や都の子育て支援の動向を注視し、課題整理などを行う。

民泊条例の制定について

質問 区は、民泊の規制に関する方向性を示した。条例制定に当たり、住環境や区民の安全を守るという目的の明確化と実効性あるルールの明記に取り組め。

保健所長 区民意見などを踏まえ、多角的な視点から検討を進める。

区独自の国保料軽減の実施

質問 都の試算によれば、国保の広域化に伴い30年度の国保料は大幅な増額となる見通しだ。低所得者や多子世帯の国保料の負担軽減に向け、区独自の支援策を講じよ。

保健福祉部長 国や都の動向を踏まえ、慎重に検討していく。

産後早期の母親健診の実施を

質問 産後2・4週間目に母親の心のケアを行うことで、産後うつ、児童虐待の防止に繋がる研究結果が明らかになった。国の補助も活用し産後の母親健診を導入せよ。

保健所長 特別区の会議体で問題を提起するなど、検討を進める。

外環道への区の対応について

質問 外環道の換気塔による健康・環境影響等の説明を求める要望が地元から出された。区民の健康と環境を守る立場で事業者に働きかけよ。

道路・交通部長 地域住民への丁寧な対応に努めるよう働きかける。

代 表 質 問

代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索！

無所属世田谷区議員
田中 優子議員



区長退職金の返上

質問 世田谷支所移転の検討にこだわって本庁舎整備の停滞を招いた上、暴力を「体罰の手前」として詭弁を弄する区長に退職金を受け取る資格はない。今期も返上せよ。

区長 特別職退職金の取り扱いについては、熟考の末結論を出す。

本庁舎整備の着工のおくれ

質問 区長が実現性の低い世田谷支所移転構想に固執して迷走を繰り返したことにより、本庁舎整備の着工予定年度が1年もおくれる事態となった。区長は猛省せよ。

庁舎整備部長 早期整備に向け32年度着工を目指し着実に取り組む。

区立特養ホームの莫大な経費負担

質問 区立特養ホームは必要以上に床面積が広く、莫大な維持経費などが生じている。芦花ホームの28年度の区の持ち出し経費を示せ。

高齢福祉部長 人件費600万円余、光熱水費200万円余などである。

謝罪メッセージの区報への掲載

質問 ドリームジャズバンドの演奏中に生徒に暴行した日野皓正氏の謝罪のメッセージが区ホームページに掲載された。本件を広く知らしめるため、区報にも掲載せよ。

生涯学習部長 掲載は難しく教育広報紙への案内記事掲載を考へる。

暴力を肯定する不謹慎な発言

質問 日野氏が自身の暴力を正当化するような発言を行い、それを受け他の講師がインターネット上で肯定的意見を発信したことは不謹慎きわまりない。撤回を求めよ。

生涯学習部長 講師に今後の事業の進め方について周知していく。

暴力を認めようという区長

質問 日野氏が犯した往復びんたなどの行為を暴力とせずにごまかしている限り暴力根絶は不可能だ。区長は今からでも暴力と認めよ。

区長 許されない行為だが暴行や殴るという行為には至っていない。

本文中で使用している省略表記
保健所長 〓 世田谷保健所長
道路・交通部長
〓 道路・交通政策部長
庁舎整備部長
〓 庁舎整備担当部長
東京大
〓 東京オリンピック・パラリンピック競技大会
〓 総合支所

一般質問

11月28日及び29日の本会議では、30名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



ゆさ 吉宏議員
(自民)



区立特養ホームの民営化の進め方

質問 区立特養ホーム等は指定管理終了後、民営化すべきであるが、現在の区立特養の質の高いサービスや先駆的・専門的な機能など、優れた特色をしっかりと引き継ぎ、サービスは引き続き維持する。

新公会計制度の行政評価への活用

質問 新公会計制度は行政施策を会計数字から正確にとらえ、自治体会計と両輪で持続可能な行政運営が出来る。新制度をどの様に行政評価に織り込んでいくのか。

答弁 コストの見える化や類似事

業の比較などの多様な分析を行う。

多摩川の堤防整備の実現

質問 区民の生命と財産を守るため、多摩川の堤防整備に尽力すべきだ。整備に向けた水辺づくりワーキング準備会で、国と地域住民との連携が一層進むよう支援せよ。

答弁 積極的に調整や支援を行い、早期整備に向けて国に働きかける。

**ひうち 優子議員
(世田谷)**

「思いやり1.5m運動」の推進

質問 自転車の安全対策を強化すべきだ。愛媛県のように車が自転車の横を通過する際に1.5mの間隔を保つことを啓発する「思いやり1.5m運動」を行うなど、工夫せよ。

答弁 多様なアイデアを活用し自転車安全利用教育や啓発を進める。

高齢者の方の力を生かす取り組み

質問 高齢者の豊かな知識や経験を地域での教育に一層生かすべきだ。区は地域貢献の意欲を持った高齢者と地域のニーズを十分把握し、双方のマッチングに努めよ。

答弁 双方のニーズを十分把握し、広報紙などを活用して周知する。

介護予防への支援が重要だ！

質問 高齢者が健康に暮らし続けられるよう、介護予防施策を推進すべきだ。地域住民の自主的な支援合いによる介護予防活動を活性化するための支援を充実せよ。

答弁 多様な地域資源の開発に努め介護予防の地域づくりを進める。

**おぎの けんじ議員
(自民)**

老朽化した学校への適切な対応

質問 10月の台風上陸の際、玉川小では校舎内が浸水し、休校を余儀なくされた。災害及び老朽化による課題が顕在化した学校は、予定を前倒しして改築の判断をせよ。

答弁 老朽化の状況などを十分考慮し計画的に改築や改修を進める。

新BOPの活動環境の早期改善を

質問 新BOPにおいてスペース、職員配置の基準が満たされていないところがあり、質が担保されているとは言い難い状況が続いている。区はどう対策を講じるのか。

答弁 保護者や学校、地域と連携し、施設環境の改善を図る。

区民会館における耐震性の確保

質問 本庁舎整備に関し、設計案における区民会館の保存再生案では最高水準の耐震性が確保できず、災害対策機能に支障を来す恐れがある。区は万全と言いきれるのか。

答弁 構造体Ⅱ類相当の耐震性確保により機能を果たせると考える。

**中里 光夫議員
(共産)**

公契約条例での区の責務を果たせ

質問 公契約条例に基づき事業者の労働条件改善への取り組みを一層促すべきだ。業務を発注する所管課も労働条件確認帳票の内容を把握し、必要に応じて指導を行え。

答弁 関係所管で連携し定期的に改善への取り組み状況を確認する。

核兵器廃絶へ、被爆の実相伝えよ

質問 被爆者の活動が核兵器禁止条約採択など世界を動かした。区民が被爆証言集を作った。区として被爆体験や核兵器の残虐さを伝える活動に区民とともに取り組め。

答弁 区民と連携し、被爆の実態を伝える活動に取り組んでいく。

北沢小統合後の児童の居場所確保

質問 北沢小では30年度の下北沢小への統合に伴い新BOPが廃止される。通学距離が延びる児童に配慮し、北沢小後利用で放課後などの子どもの居場所を確保せよ。

答弁 地域との協働による居場所づくりについて検討を進めている。

注視し適切な普及支援を図りたい。

薬の飲み残し防止対策

質問 処方薬の重複などによる高齢者の薬の飲み残しが社会問題化している。患者の服薬情報を一元管理するかかりつけ薬剤師の活用を促進するなど、対策を講じよ。

答弁 薬剤師会などの関係団体と残薬問題について相談したい。

教職員の事務負担軽減の取り組み

質問 教職員が子どもと向き合う時間を十分確保できるよう、事務負担の軽減を図るべきだ。事務補助員や理科支援員の確保に取り組むなど区立校への支援を強化せよ。

答弁 事務アシスタントの配置や理科支援員などの確保を検討する。

**安部 ひろゆき議員
(自民)**

特定健診の受診率向上の取り組み

質問 特定健診の受診は疾病の早期発見に有効であり、医療費削減にもつながる。受診率向上に向け、受診費用の助成や受診者へのインセンティブの導入などに取り組め。

答弁 国保広域化に伴うインセンティブの導入の可能性も検討する。

区内大学との包括的な連携の推進

質問 区内大学との地域振興などに係る連携事業は各所管で展開されており、庁内での情報共有が不十分だ。包括的な連携を円滑に進めるため、担当部署を一元化せよ。

答弁 区と大学で構成される連絡会が調整機能を担うよう工夫する。

給食後の歯磨きの推奨

質問 給食後の歯磨きは児童生徒の健康づくりに効果的だ。区は児童生徒が一斉に歯磨きをできる環境の整備が困難と言ふならば、せめて区立校での歯磨きを推奨せよ。

答弁 実施校の事例を紹介しつつ、歯磨きの拡大に向けて取り組む。

**桜井 稔議員
(共産)**

三軒茶屋地区のまちづくり

質問 三軒茶屋地区は交通アクセスがよく、公共施設の利用頻度も

高い。策定予定の三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針に公共サービスの拠点としての役割を明記せよ。

答弁 公共サービスのあり方について、方向性を検討していく。

区民参加による本庁舎整備の推進

質問 本庁舎整備の設計事業者の選定過程における情報公開と区民参加の取り組みを評価する。この姿勢を設計や施工の段階でも貫き、区民と一体となって整備を進めよ。

答弁 設計や施工の段階でも情報公開や区民参加の手法を工夫する。

**羽田 圭二議員
(民進社)**

若者に寄り添った相談体制の強化

質問 生きづらさを感じている若者の心に寄り添った相談体制を強化すべきだ。困ったことや嫌なこと、多様な相談に対応した総合的に支援する体制の構築に取り組め。

答弁 関係所管で連携を図り、相談体制強化などについて検討する。

若者の雇用環境充実への取り組み

質問 「過労自殺」や「サービス残業」などの言葉が横行している。賃金や労働時間などワークルールの啓発に加え、各企業の実態を把握し、最低賃金の遵守を求めよ。

答弁 社会保険・労働相談での相談傾向などを分析し、支援を行う。

多文化共生社会実現への取り組み

質問 東京大大会では、言語や文化が異なる世界各国の人々が区を訪れる。これを契機に、多文化共生社会の実現への取り組みを充実し、世田谷から国内外に発信せよ。

答弁 実現への取り組みが大会後も継承されるよう施策を推進する。

5

問 質 一 般

山口 ひろひさ 議員
(自 民)



野毛大塚古墳からの出土品の活用

質問 玉川野毛町公園内にある野毛大塚古墳は貴重な歴史的財産だ。観光資源としての活用も視野に、公園拡張工事に合わせて古墳からの出土品を展示する施設を設けよ。

回答 出土品の現物は展示できないが、有効な展示方法を検討する。

総合福祉センターのノウハウ継承

質問 高次脳機能障害者への支援に総合福祉センターが果たしてきた役割は大きい。整備予定の梅ヶ丘拠点への機能移行に際し、センターのノウハウを確実に継承せよ。

回答 ノウハウを生かし、事業も充実できるように移行準備を進める。

姉妹都市提携の継続性確保

質問 ウィーン市ドゥプリング区との姉妹都市提携は相手方区長との友好関係による部分が大きく継続性が不透明だ。安定的な交流の継続に向け提携のあり方を見直せ。

回答 継続的かつ安定的な交流体制の構築に向けて協議を重ねる。

上川 あや 議員
(虹)



区の公益通報制度の欠陥を改めよ

質問 区の公益通報制度では、調査を担った弁護士が区の不正に気付いていても是正の勧告権はなく、公表も通報もできない。弁護士が不正を公表できるよう制度を改めよ。

回答 有効な手段と判断し、実施に向けた準備を所管部に指示した。

集合住宅を災害時の給水施設に

質問 震災等での断水時も集合住宅の受水槽内には入居者の1〜2か月分もの飲み水が残る。葛飾区に倣い、集合住宅の受水槽に応急給水栓を整備する施策を推進せよ。

回答 他自治体を参考に、災害時の水の確保の取り組みを進める。

区のホームページを全暗号化せよ

質問 区ホームページは一部のページしか暗号化されていない。閲覧者の検索履歴などが読み取られる

可能性がある。個人情報保護の徹底に向け、全ページを暗号化せよ。

回答 30年度のホームページ再構築の中で、実現に向けて検討する。

菅沼 つとむ 議員
(自 民)



玉川清掃事務所と児童館の合築

質問 玉川清掃事務所は竣工から50年以上が経過し、老朽化に伴う改築が検討されている。玉堤小の近隣に児童館がない状況を踏まえ、改築する場合は児童館を合築せよ。

回答 改築時に複合化などの可能性を検討することになると考える。

ふじみ荘の大規模改修への道筋

質問 区はさきの議会で、30年度からの指定管理期間の3年間でふじみ荘の大規模改修の具体的な時期や手法に一定の目途を立てる旨を答えた。計画を早急に示せ。

回答 民間資本による整備手法の可能性なども含めて検討している。

区内駅のバリアフリー化の推進

質問 東京20大会で馬術競技会場の周辺にある用賀駅と桜新町のバリアフリー化が急務だ。ホームドアの早期整備やエレベーターなどの増設を東急電鉄に働きかけよ。

回答 両駅において、より円滑な移動が可能となるよう働きかける。

田中 みち子 議員
(生 ネ)



人と動物が共生できる社会の実現

質問 さきの動物フェスティバルのふれあい動物コーナーでは、都の動物愛護推進委員から適正飼育に係る指摘があったと聞く。指摘を事業の改善にしっかりと生かせ。

回答 指摘を踏まえ、よりよいフェスティバルとなるよう努める。

円滑なペット同行避難の取り組み

質問 区は災害時のペット同行避難に向け、被災動物ボランティアを育成しているが、円滑に活動できている。ボランティアと避難所運営者との関係づくりを進めよ。

回答 避難所訓練への参加を促すなど顔の見える関係構築を進める。

世田谷246ハーフマラソンでの工夫

質問 世田谷246ハーフマラソンへの視覚障害者の申し込みが今まで一件もない。参加促進に向け、視覚障害のあるパリンピアンなどをゲストランナーとして招待せよ。

回答 ゲストランナーの招待などを含め参加を促す工夫を検討する。

佐藤 美樹 議員
(希 望)



災害時協力協定の実効性への懸念

質問 区はドローンによる災害時の情報収集に係る協定を結んだが、相手方が区外団体のため機動性に課題があり、情報の活用目的も不明確だ。災害時にどう生かすのか。

回答 住宅の被害認定調査の効率化などに役立てられると考える。

希望丘小の増築棟整備に係る課題

質問 希望丘小の教室数不足解消に向けた増築棟の整備は、校庭の狭あい化を招く。増築するならば、隣接する区立公園を活用して校庭拡張整備を行うなど対策を講じよ。

回答 活用についてはどのような手法が可能か関係所管で協議する。

国の保育無償化への対応

質問 国は保育無償化を検討しており、一律に無償化されれば低所得者に配慮して所得に応じた認可保育料を定めている区の制度の趣旨と矛盾する。どう対応するのか。

回答 国の制度設計を注視し区の実態も踏まえて無償化を検討する。

石川 ナオミ 議員
(自 民)



区内共通商品券の経済効果の測定

質問 一層の消費喚起に向けたプレミアム付区内共通商品券の発行額の増額も視野に、商品券の経済効果をしっかりと検証すべきだ。

回答 29年度の効果をもと測定するのか。

キャラバン・メイトの養成

質問 地域における認知症への理解促進の取り組みを充実すべきだ。認知症サポーター養成講座の講師

であるキャラバン・メイトの育成に向けた講座を区主催で開催せよ。

回答 キャラバン・メイトの養成に計画的に取り組んでいく。

惠泉通り開通に向けた区の対応

質問 惠泉通りの未開通区間における土地の明け渡しに向けた地権者との合意形成が難航する中、区は行政代執行を検討していると聞く。今後どのように対応するのか。

回答 交渉を継続しているが、代執行計画策定の準備にも着手した。

阿久津 皇 議員
(希 望)



姉妹都市交流事業のさらなる推進

質問 姉妹都市との交流の意義は、人と人との触れ合いにより相互理解を深めて世界平和の実現につなげることにある。このビジョンを明確に持って交流事業を進めよ。

回答 姉妹都市交流が平和な社会の構築につながるよう取り組む。

国際交流における区民参加の推進

質問 国際交流事業の一層の発展には、区民の熱意が不可欠だ。国際経験が豊富で語字に堪能な区民や在住外国人の協力を得て、草の根の交流を深める仕組みをつくれ。

回答 まちぐるみの交流推進に向け区民参加の手法などを検討する。

子育て利用券の活用促進

質問 子育て利用券は、子育て世帯が地域とつながるきっかけとなるため大変有意義だ。一層の活用促進を図るため、利用券の増額や有償利用券の発行に取り組め。

回答 事業の導入趣旨なども踏まえ、当面は現行の内容を継続する。

諸星 養一 議員
(公 明)



桜新町駐輪場の拡張整備

質問 桜新町駐輪場の平置きスペースは、大型の自転車の駐輪台数増加に伴い飽和状態にある。隣接する放置自転車等保管所の敷地の一部を活用して拡張整備を行え。

回答 保管所の一部を活用して整備を行う方向で検討を進めている。

スポーツコミッションの創設

質問 スポーツによる地域活性化を図るべきだ。観光や産業などの資源とスポーツを融合し官民で戦略的に施策展開を図る組織であるスポーツコミッションを創設せよ。

回答 スポーツコミッションによる取り組みも含め検討を進めたい。

地域におけるスポーツの機会拡充

質問 総合型地域スポーツ・文化クラブを拡充すべきだ。全区展開も視野に、会員数の拡大などの課題の解決に向けて地域や学校、活動団体が協議する場を設定せよ。

回答 学校やスポーツ推進委員と連携し協議の場の設定などを行う。

河野 俊弘 議員
(自 民)



LINEによる相談窓口の創設

質問 いじめを早期に発見して支援につなげる体制を強化すべきだ。SNSの普及を踏まえ、子どもが悩みを打ち明けやすいようLINEを活用した相談窓口を創設せよ。

回答 他自治体の先進事例や国の動向などを注視しつつ研究したい。

三軒茶屋地区の回遊性の向上

質問 三軒茶屋1、2丁目地区は国道246号線で分断されている。東急電鉄と連携し、再開発に合わせ両地区を行き来できる地下空間を創出するなど回遊性向上を図れ。

回答 三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針を策定する中で検討する。

梅丘図書館の改築による魅力向上

質問 梅丘図書館の改築を待ち望む住民の声は多い。基本設計に際してはワークショップでの意見を十分反映し、羽根木公園と一体化した魅力的な図書館を整備せよ。

回答 意見を形にするため民間のアイデアを設計段階から活用する。

**高久 則 男 議員
(公 明)**



人間ドック費用の助成

質問 区民が人間ドックを受診して健康増進への意欲を高めることは、特定健診の受診促進にもつな

がる。受診率の向上も視野に、人間ドックの費用助成に取り組め。

回答 国保制度改革の影響も視野に入れ、引き続き研究していく。

食品ロス削減への新たな取り組み

質問 食品ロスの削減に向けて一層取り組むべきだ。飲食店の食品廃棄物の削減も視野に、まずは公共施設に併設する飲食店で食べ切りを推奨するなど、工夫せよ。

回答 他自治体を参考に、食べ切り協力店事業などを検討する。

区立図書館での読書通帳の導入

質問 子どもが読書の意欲を高める本を読む習慣を身につけられるよう工夫して取り組むべきだ。読書履歴を目に見える形で残せる読書通帳を区立図書館に導入せよ。

回答 自書式の読書ノートを作成して配布することを検討している。

桃野 よしふみ 議員
(F 行革)



緊急速報メールの早急な改善

質問 区は災害時に携帯電話会社を通じて緊急速報メールを配信しているが、10月の台風接近時には一部の地域でメールが届かなかったと聞く。早急に改善を図れ。

回答 今後、事業者にも有効な手法などがないかを確認していく。

損害賠償金の職員への求償

質問 区民の公益通報に関する職員の違法行為に対し、区に損害賠償を命じる判決が確定したが、賠償金を区民の税金で賄うことは許されない。当該職員に求償せよ。

回答 職員に故意または重過失はなく求償の対象ではないと考える。

手当の支給漏れの調査

質問 区の不適切な対応により児童扶養手当などがDV被害者に支給されていない事実が発覚し、区は誤りを認め支給を決定した。同様の事態がないかを調査せよ。

回答 支所で調査し該当者がいた場合は個別に対応する予定である。



問 質 一 般

河村 みどり 議員
(公 明)



市民レベルの国際交流機会の拡充

質問 国際交流の一層の推進に向け、市民レベルでの交流機会を拡充すべきた。官民連携による国際交流協会の創設も視野に、自発的な交流への支援体制を強化せよ。

答弁 民間活力を活用し継続的に交流を推進する体制を検討したい。

認知症者の視点に立った施策展開

質問 認知症施策を充実すべきた。認知症者が主体となる本人ミーティングを行って当事者の声を聞き、開設予定の認知症在宅生活サポートセンターでの施策に生かせ。

答弁 本人参画を進める取り組みをセンターにもしっかりと引き継ぐ。

獣害防止対策の強化

質問 区内ではハクビシンなどの害獣による農作物への被害がふえており、対策が急務だ。害獣の捕獲などに対する支援を行う農作物獣害防止対策事業を拡充せよ。

答弁 29年度の実績を評価し30年度以降に事業の改善を図っていく。

そのべ せいや 議員
(F 行 革)



申請書類における押印廃止の推進

質問 区の申請書類は20年以上前の押印廃止の基準に基づいている。押印廃止を進めて手続簡素化を図るため、電子署名の普及などの社会変化を踏まえて基準を改定せよ。

答弁 社会の価値観などを考慮し、必要に応じ基準の点検に努めたい。

起案の電子決裁化の推進

質問 起案の電子決裁化を一層進め、押印廃止による事務の効率化やペーパーレス化を徹底すべきた。全起案のうち、いまだに押印決裁している文書はどの程度あるのか。

答弁 28年度実績では、押印決裁は全起案の約55%を占めている。

保育の無償化への適切な対応

質問 国は保育の無償化を進めようとしている。区は無償化に伴う影響を十分見きわめ、保育二一ズ

が一層喚起されることも想定した上で、必要な対策に取り組め。

答弁 無償化に伴う在宅子育て世帯の動向を見守る必要がある。

加藤 たいき 議員
(自 民)



本庁舎整備での執務面積の確保

質問 本庁舎整備に際し区民会館の一部を保存すれば、上部空間を活用した庁舎の増築ができず延べ床面積が制限される。保存にこだわらず執務面積の確保を優先せよ。

答弁 執務空間の効率的、効果的な使用について具体的に検討する。

姉妹都市との教育交流事業の継続

質問 バンバーリー市との教育交流事業継続に際し、市は派遣生徒の確保の困難を理由に実施学年や交流の見直しを求めている。区の派遣枠拡大も視野に柔軟に対応せよ。

答弁 先方の意向を踏まえて調整を進め実現可能な方策を検討する。

バス路線の利便性の向上

質問 等々力操車所と梅ヶ丘駅を結ぶバス路線の一層の利便性向上に取り組むべきた。駒沢大学駅や東京医療センターを経由するルートに変更するよう事業者に求めよ。

答弁 移動利便性の一層の向上を図るため、バス事業者と協議する。

すがや やよい 議員
(SD 新 党)



人と犬の共生に向けた環境整備

質問 都立砧公園の利用者から犬を連れて利用しやすい環境の充実を求める声がある。公園内のレンタサイクル駐輪場跡地へのドッグランの整備などを都へ働きかけよ。

答弁 犬を連れての利用の拡充を求める声を都に対して伝えていく。

高校教育無償化への区長の見解

質問 高校進学に伴い入学金や学費などの負担がふえる一方、児童手当などの支給は終了しているため家計は一層厳しくなる。高校教育無償化への区長の見解を示せ。

答弁 経済的理由で子育てに苦勞する家庭の支援が最優先と考える。

就学支援金制度の丁寧な案内

質問 高校生が家庭の経済状況にかかわらず安定した高校生活を送れるよう支援すべきた。高校の授業料を国が補助する就学支援金制度などを窓口で丁寧に案内せよ。

答弁 適切な支援ができるよう広く情報を収集し相談の質を高める。

あべ 力 也 議員
(減 税)



区長の公用車の私物化を許すな！

質問 区長が私的活動のために運転手付きの公用車を利用して文京区まで移動したことは、公用車の私物化にほかならない。利用を正当化できる理由などあったのか。

答弁 車内で公務に係る調整などの必要があり、往路のみ運行した。

区長の無責任な政治姿勢を正せ！

質問 区長は国が検討中の保育無償化を他人ごとのように批判しているが、ゼロ歳から2歳の待機児対策や認可外施設利用者の支援は区の責務だ。無責任ではないのか。

答弁 国の制度設計を注視し低所得者に配慮した補助制度を考える。

障害者継続雇用への取り組みを！

質問 障害者の安定雇用に向けた取り組みを充実すべきた。指定管理者が変更されたとしても障害者の雇用が継続されるよう、指定管理者制度に係る運用指針を見直せ。

答弁 変更に伴う障害者雇用に係る課題などの検討が必要と考える。

中村 公太朗 議員
(民 進 党)



区有地の有効活用への取り組み

質問 国の補助を受けて取得した土地を活用して収益事業を行うと、補助相当額を国に返還する必要があるため、未利用地の活用が進まない。規制緩和を国に求めよ。

答弁 関係所管で検討し国に規制緩和の提案などを行っていきたい。

若手職員育成への官民の人事交流

質問 若手職員の潜在能力を引き出して区政に生かせるよう、人材育成に注力すべきた。若手職員に

民間の視点を養うことを目的に、民間企業との人事交流に取り組め。

答弁 若手職員の育成を念頭に、人事交流に係る検討を進めている。

補助金交付団体の政治的中立性

質問 さきの衆院選の選挙期間中、区の補助を受けている団体が特定の候補者に施設を使用させたことは政治的中立性の面で疑問だ。改善に向け、補助のあり方を見直せ。

答弁 個々の事例を踏まえ適切な啓発や指導に取り組んでいきたい。

小泉 たま子 議員
(希 望)



理念に基づいた参加と協働の推進

質問 区が目指す区民参加と協働には理念がない。区民に知恵を求める前に、区が責任を持って地域社会のあり方を明確に示した上で区民との信頼関係の構築に努めよ。

答弁 区民と行政の相互理解と信頼に基づく参加と協働に取り組む。

児童館に係る所管の支所への移管

質問 児童相談所の移管を見据え、児童館が地区で一貫した子育て支援機能を発揮できる体制を構築すべきた。支所に子ども部門を設け、児童館の所管を支所に移管せよ。

答弁 児童館に係る支所と本庁のかかわりなどを早急に検討したい。

東名ジャンクション上部の活用策

質問 区が示す外環道東名ジャンクション上部空間の利用計画では、緑の保全の視点が不十分だ。みどり33の達成に向け、緑に覆われた上部空間の森づくりに尽力せよ。

答弁 地域にふさわしい豊かな森をイメージできる空間を創出する。

山内 彰 議員
(自 民)



生物多様性の保全への対策強化

質問 外来種の繁殖は、在来種の駆逐を初め生態系に悪影響を及ぼす懸念がある。生きものつながる世田谷プランに基づき、生物多様性の保全に向けた対策を強化せよ。

答弁 影響が深刻な場合は国や都などと情報を共有して対策を行う。

職員参加での観光スポットの発掘

質問 観光事業の一層の推進に向け、区職員の意見を十分に活用すべきた。職員にアンケートなどを実施して区内の新たな観光スポットを発掘し、区民に広く紹介せよ。

答弁 職員参加で観光スポットの発掘を促し、観光事業に活用する。

まちかど図書館の魅力向上

質問 まちかど図書館の魅力の向上を図り、子育て家庭などの来館を一層促進すべきた。子育てに役立つ図書の実施や地域に根差したイベントの実施などに取り組め。

答弁 蔵書構成や書架の配置などを工夫しながら運営していく。

高岡 じゅん子 議員
(生 新 党)



地域包括ケアシステムの推進

質問 地域包括ケアシステムを推進すべきた。地域の絆活性化連携事業の対象団体が活動中に把握した地域の声をまちづくりセンターが受けとめ確実に支援につなげよ。

答弁 活動団体の声を受けとめ、情報共有と課題検討につなげる。

住まい確保支援の充実

質問 法改正に伴い、都道府県が指定する居住支援法人による住宅確保要配慮者の支援が始まる。区は当該法人と連携し、高齢者などへの住まい確保支援を充実せよ。

答弁 居住支援協議会で支援法人との連携を具体的に検討している。

高さ制限見直しでの丁寧な対応

質問 区が示した建築物の絶対高さ制限の見直しに係る素案を受け、都営下馬アパート周辺地区では高さ制限のあり方を検討中だ。合意形成を図れるよう丁寧に対応せよ。

答弁 地区の住民に丁寧に説明し、合意形成を図れるよう努めていく。

青空 こうじ 議員
(無 所 属)



保護者や地域と連携した道徳教育

質問 学習指導要領の改訂により、30年度から道徳が教科化される。子どもへの道徳心の育成に向け、保

護者や地域の理解と協力を得ながら充実した授業に取り組め。

答弁 地域と協働して子どもの道徳性を育てる教育を推進していく。

キャリア教育の充実

質問 子どもが将来の夢や職業について考えるキャリア教育を充実すべきた。区立校を卒業した著名人などを講師として招き、子どもに夢を与える授業を一層展開せよ。

答弁 多様な職業人との触れ合いを通じたキャリア教育を奨励する。

喫煙場所の着実な整備

質問 区は分煙の推進に向けて喫煙場所の整備を進めるとしているが、用地の確保が課題となっている。駅前広場整備事業などの機会を捉え、着実な整備に取り組め。

答弁 鉄道事業者などへの喫煙場所整備の働きかけを積極的に行う。

中塚 さちよ 議員
(民 進 党)



土砂災害時の避難場所の見直し

質問 成城地区の土砂災害警戒区域の避難場所を喜多見地区会館に開設した場合、避難時に住民が野川を渡ることとなり水位上昇時には危険が伴う。避難場所を見直せ。

答弁 住民の意見も聞いて検証し、より安全な避難方法を検討する。

有料老人ホームの地域開放の促進

質問 区内の介護つき有料老人ホームの中には、交流フロアなどを地域住民に開放している施設もある。区民活動の場が不足する中、他のホームにも開放を働きかけよ。

答弁 災害時の協力なども進むと考えられるため、働きかけを行う。

若い世代へのがん検診受診の啓発

質問 がんの早期発見に向け、若い世代のがん検診に対する関心を高めて受診率の向上を図るべきた。がんに係る知識を啓発するためのアプリを導入するなど、工夫せよ。

答弁 既成概念にとらわれない柔軟な発想で受診勧奨策を検討する。



次回の定例会は2月下旬から開催する予定です

↑ページからの続き

○仮称二子玉川複合施設新築工事
 （全員賛成）

工事名	相手方・契約金額
新築	立石建設株式会社 三億四九一六万四千円

工期 31年6月14日

●損害賠償請求事件の和解 1件

○児童の負傷事故に係る損害賠償請求事件の和解

（全員賛成）

平成26年に武蔵丘小での組み体操の練習中に、原告の児童が負傷した事故について和解する。

●指定管理者の指定 1件

○自転車等駐車場

（全員賛成）

施設名称	指定管理者
下北沢東自転車等駐車場	公益社団法人世田谷区シルバー人材センター

●人権擁護委員候補者の推薦 1件

（全員賛成）

伊藤靖子氏を候補者として法務大臣あてに推薦することを可とする。

●教育委員会委員任命の同意 1件

（全員賛成）

宮田 春美（新任）

●議会運営委員会の委員定数の変更（全員賛成）

会派等の構成の変更に伴い、委員定数を12人から13人に変更する。

●議会運営委員会の委員の選任（全員賛成）

大庭正明議員（F行革）を選任する。

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。審議が終わったもの

◆採択したもの 1件

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願（全員賛成）

◆不採択としたもの 2件

○奥沢ビル耐震工事に関する陳情（全員賛成）

○世田谷区立北沢小学校の小規模特認校制度導入に関する陳情（全員賛成）

以上2件の賛否は、不採択とする。

ることに対するもの。

◆取り下げを承認したもの 1件

○待機児童の解消と世田谷の保育の質の維持に係る保育予算の増額を国と東京都に求める意見書をあげることを要望する陳情（全員賛成）

新しく出されたもの

●福祉保健常任委員会に付託 3件

○待機児童解消並びに良質な保育の堅持を求める陳情

○国民健康保険料の負担軽減のため、都の責任を果たすことを求める意見書の提出を求める陳情

○世田谷区における住宅宿泊事業法に関する条例制定の再考を求める陳情

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める要望書

我が国の経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、不安定な国際情勢や海外経済の不確実性

の影響が懸念されており、いまだ

区民や小規模事業者を取り巻く環境は、雇用不安の拡大、不透明な金融事情、後継者不足など、さまざまな危機にさらされています。

このような社会経済環境の中で、

世田谷区内の事業者は、厳しい経営を強いられ、その生活基盤は圧迫され続けています。

こうした中、東京都が実施している、軽減措置、減免措置が廃止

されることになれば、小規模事業者の経営や生活はさらに厳しいものとなり、地域経済への悪影響が懸念されます。

よって、世田谷区議会は東京都

に対し、次の事項を実施されるよう要望いたします。

1. 小規模住宅用地に対する都市計画税の二分の一軽減措置を引き続き平成30年度以降も実施すること。

2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の2割

減免措置を引き続き平成30年度以降も実施すること。

3. 商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65％に引き下げる減額措置を引き続き平成30年度以降も実施すること。

平成29年11月16日

東京都知事 あて

副委員長の互選結果

○区民生活常任委員会

副委員長 桃野よしふみ（F行革）

○都市整備常任委員会

副委員長 羽田 圭二（民進社）

○地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会

副委員長 大庭 正明（F行革）

○公共交通機関対策等特別委員会

副委員長 田中 優子（F行革）

世田谷区議会 議会中継 で検索！



編集後記

○今定例会では、35名の議員が、公共施設整備のあり方や教育施策の充実など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会

議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様をホームページでライブ中継するほか、区役所第1・第3庁舎、総合支所、市民活動支援コーナー（キャロットタワー3階）のテレビでもライブ中継します。また、ホームページではお好きな時間にご視聴いただける録画配信も行っています。ぜひご覧ください。

○区議会だよりのテープ版とディジー（CD-ROM）版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りしていますので、ご希望の際は区議会事務局調査係までご連絡ください。また、区議会だよりの点字版も発行しています。区立図書館で貸し出していますのでぜひご利用ください。なお、区立図書館では過去1年以内に発行された区議会だよりのテープ版とディジー（CD-ROM）版も貸し出していますので、合わせてご利用ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL（5432）2779

TEL（5432）2779

FAX（5432）3030

FAX（5432）3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会

議録（2月中旬発行予定）をごらんください。なお、会議録は、

区立図書館、区政情報センター、

総合支所、出張所、まちづくり

センターなどに備えてあります。

また、ホームページでもご覧

いただけます。

議会日誌

閉会中に開催された委員会

11月7日（火） 議運

10日（金） 企画、区民、文教

13日（月） 福祉、都市

14日（火） 分権、災害、オリパラ、交通

16日（木） 企画、議運

会期中の主な会議日程

11月27日（月） 本会議（議案の議決、代表質問）、企画、議運

28日（火） 本会議（代表質問、一般質問、議案の付託）、企画、議運

29日（水） 本会議（一般質問、議案の議決、議案の付託）、議運

30日（木） 企画、区民、文教

12月1日（金） 福祉、都市

4日（月） 分権、災害、オリパラ、交通

6日（水） 本会議（議案の議決、請願の付託など）、議運

委員会名称

企画＝企画総務常任委員会 区民＝区民生活常任委員会

福祉＝福祉保健常任委員会 都市＝都市整備常任委員会

文教＝文教常任委員会 議運＝議会運営委員会

分権＝地方分権・本庁舎整備対策等特別委員会

災害＝災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会

オリパラ＝オリンピック・パラリンピック・環境対策等特別委員会

交通＝公共交通機関対策等特別委員会

インターネット議会中継をご利用ください

本会議と予算・決算特別委員会の模様を区議会ホームページで、ライブ中継、録画配信しています。

ライブ中継の映像は、会議終了後、当日のうちに録画映像として配信します。議員ごとに編集した映像は、会議のあった日からおおむね1週間後に配信します。

映像は、パソコンだけではなく、スマートフォンでもごらんいただけますので、臨場感あふれる映像をぜひごらんください。



世田谷区議会 議会中継 で検索！

